

平成19年度

事業報告書

調布市武者小路実篤記念館運営事業団

調布市武者小路実篤記念館運営事業団

＜平成19度事業報告＞ 要旨

調布市武者小路実篤記念館は昭和60年10月に開館してから22年目となり、この間、平成4年1月に当事業団が設立されてからは、調布市武者小路実篤記念館の事業活動全般を担い、武者小路実篤の業績を顕彰するとともに、現代において彼の作品や活動の魅力を改めて見直し広く普及する事業を展開し、各方面から高い評価をいただいております。

平成19年度は、引き続き調布市教育委員会からの受託事業を中心として、開館から今日まで蓄積してきた展示・普及、収集・保存、調査・研究活動をととして得られた成果と信頼をもとに事業を進めました。そして、作品・資料や情報の適切な管理と有効な活用をはかるとともに、記念館の機能を十分活用し、来館者の要望を取り入れながら、特色ある教育施設や地域の芸術・文化の拠点としての役割を担うべく多彩な事業を展開しました。

当事業団の運営にあたっては、事務事業の強化を計り、設置理念、事業内容の充実を達成するために、規定等の整備を行うとともに、必要な組織、効率的かつ円滑な運営面のあり方を、各方面の協力を得ながら検討してまいりました。

また、18年度より公益法人会計に準拠した会計方式を取り入れ、財務情報の透明化を図り、事業内容や効率性をわかりやすく公表するように引き続き努め、19年度より、運営状況をホームページ上で公開を始めました。

＜展示事業＞ 事業の中心である展示事業では、春の特別展「日日是好日～雑誌『心』に集った人々～」を、秋の特別展「写真に見る実篤とその時代 Part3～昭和21-51年～」を開催し、各方面より好評をいただきました。また、企画展では、幅広い武者小路実篤の活動を紹介してゆくために多角的なテーマを設け、あわせて実篤記念館の充実した収蔵品を紹介する展示を開催しました。

さらに、調布市文化会館たづくりにおいて移動展「実篤と『白樺』の仲間たち」を開催し、より多くの人に武者小路実篤を知っていただく機会といたしました。

19年度より従来の来館者アンケートを充実させ、展示や施設に関するアンケートを実施し、来館者の意見を取り入れ、満足度の高い事業を提供するべく努めました。

＜普及事業＞ 恒例となった「実篤に挑戦」（絵画制作会）をはじめ、多くの応募が寄せられている「本を作る」講座、読書会、美術講座、自然観察会、「せんがわ劇場」オープニングイベントの一貫として朗読会を、引き続き内容の充実を図り、幅広い世代に対し良質な普及事業を提供し、身近で、親しみのある教育、文化・芸術の場、また市民の誇りとなるような事業展開をしました。また、普及事業の運営方法として、事業の充実が望まれる講座については、参加者に応分の負担をしていただく方法を取り入れました。

さらに、地域連携事業では、桐朋学園大学音楽部などの協力を得て、コンサートを開催し、回を重ねるごとに来館者、リピーターが増える好評なものとなりました。

学校教育との連携事業では、市内小・中学校に実篤に関する資料・情報を提供、職場体験の受入れなどを引き続き進め、17年度より始めた実篤ゆかりの詩・作文募集（第2回）を実施し、子供たちの文章力や表現力を養うとともに、人とのコミュニケーションを考える場となりました。また、実篤記念館が持つ文学、美術、自然、情報など様々な要素を活用して、小・中学生を対象とした「調べ学習」「創作」「芸術鑑賞」を中心としたキッズプログラムの充実に取り組み、実篤や記念館に親しむ機会を増やし、子供たちが多様な体験を通して感性を磨き、自身で考える力、豊かな心を育む事業を進めました。

協力ボランティア活動は、普及事業への協力や広報資料の送付、他館より送付された図録資料の整理、実篤公園の草花調査、草木の育成、手入れ作業と活動の幅が広がり、記念館の事業展開に大きな役割を果たすまでとなり、市民、地域との連携を担う事業となりました。また、4期生の養成講座を開催したのはじめ、活動を充実させるために、関連美術館の見学、救急救命を学ぶ研修を開催しました。

記念館の事業活動をより多くの方々に知っていただくために、ホームページを活用し、「館報」の内容をより充実させるとともに、各方面への積極的な広報活動を行い、各種取材への対応をしました。

＜資料の収集・保存事業＞ 「資料収集」では、実篤記念館が事業の充実を図るために必要に応じて美術作品、原稿、書簡類、図書など関係資料を収集し

ており、事業団では引き続き収集に関する各種情報を集め実篤記念館へ購入の提案をしました。

「資料の整理・保存」事業では、収集された作品・資料を速やかに整理し、収蔵品データベースへの入力作業を進め、良好な状態で保存し、後世に貴重な作品・資料を伝えるように努めました。さらに、収蔵作品・資料の適切な保存・管理を図るために、収蔵庫の燻蒸作業に協力するとともに、保存・記録作業、作品の修復作業、資料の複製制作を計画的に実施しました。

旧実篤邸耐震補強工事においては、工事の記録映像の撮影をはじめ、旧邸内にある資料の状態の把握に努めるとともに、移動作業に協力しました。

＜閲覧・情報公開事業＞ 「閲覧」業務では、開架図書を中心とする閲覧業務、レファレンス業務のほか、展覧会や事業にあわせた図書紹介など、資料の活用促進を計り、利用者の窓口としてサービスの充実に努めました。

「情報公開」事業では、コンテンツや情報の充実に努め、収蔵品情報やより多くの方々に事業や実篤関連情報、事業記録など知っていただくために、情報提供システムの運用を引き続き進めました。

＜調査・研究事業＞ 「調査・研究」活動では、特別展関連及び収蔵資料の調査を実施し、これまでの調査で得た情報を活用し、他の文学館、美術館や研究機関との協力を得ながら、「武者小路実篤、白樺、新しき村」に関する情報センターとしての役割を担うべく、調査・研究活動を進めました。

＜その他事業＞ 友の会は、記念館と来館者を結ぶ組織であり、会員の増強と一層の充実に努め、会員に関連情報を提供する友の会ニュースを定期的に発行するほか、ミュージアム・ショップの運営や、友の会主催事業を実施し、また、記念館事業を側面から支援しました。当事業団は、友の会の事務局を担当しました。

調布市武者小路実篤記念館運営事業団
【平成19年度 事業報告】

1. 入館状況 詳細、別紙1 「使用状況」のとおり
2. 展示事業 詳細、別紙2-1「展示事業」のとおり ※
3. 普及事業 ※
- (1) 講座・講演会等 詳細、別紙2-2(1)(2)のとおり
年間 23件41回開催
- ・年代を問わず、様々な角度から武者小路実篤、実篤記念館や公園を知るきっかけづくりを中心とした講座、講演会等を開催。
 - ・地域連携事業
地域連携事業として桐朋大学音楽学部等の協力によるコンサートを開催
- (2) 学校教育との連携事業 詳細、別紙2-2(3)のとおり
- ・市内在住、在学の子供たちの作文・詩を募集し、文集を発行。
 - ・夏休み講座、自由研究サポートの充実、親子参加事業の開催。
 - ・職場体験、職場訪問への協力。
 - ・学校図書館へ関連資料の配付及び情報提供を行い、利用普及に努めた。
- (3) 生涯学習活動への対応
- ・展示解説(事業団主催) 12回
 - ・団体見学者に対しての展示解説 32回
 - ・視察 (新宿区林芙美子記念館、横浜市大佛次郎記念館ほか) 9件
 - ・他の博物館施設、文化団体等から講座などの依頼に対し、外部の会場で、学芸員が講師となる。 4件
- (4) 協力ボランティア活動 詳細、別紙2-2(4)のとおり
- ・普及事業への協力、広報資料の発送作業、他館より送付の図録、年報などの資料整、実篤公園の草花の育成などの活動を実施。(登録者38名)
 - ・協力ボランティア養成講座(全6回)を開催。
 - ・ボランティア活動を充実させるための、研修講座や会議を開催。
 - ・事業団は活動の日程等の調整を中心に対応。

(5) 印刷物の編集 詳細、別紙2-2(5)のとおり

- ・特別展や武者小路実篤への理解を深めるために解説資料と、記念館事業の周知をするための広報資料を企画、編集。

(6) 広報活動

展示、普及事業の周知及び取材に対応

- ・特別展等ポスター、チラシの作成、配付 2回
- ・テーマ展、普及事業のミニポスター、チラシの作成、配付 30回
- ・ホームページの更新(年12回) 年間アクセス数 約1,570,230件
- ・調布市報 月2回
- ・ちょうふの教育 年2回
- ・報道機関等への情報提供 31件
- ・取材対応(新聞・雑誌・TVなど) 130件

(7) 他機関への事業協力

- ・他機関の展覧会開催で情報提供、作品・資料の貸出作業を実施(5件)
 - 筆の里工房(広島県熊野町) 「武者小路実篤」展 (5/16-27)
 - 江戸東京博物館 「夏目漱石」展 (9/26~11/28)
 - 群馬県立土屋文明記念文学館
 - 「今日も赤城が見える 風の文学紀行」展 (10/26~11/25)
 - 埼玉県立近代美術館ほか 「熊谷守一」展 (20年2/2~3/23)
 - 平塚市美術館ほか 「大正の鬼才 河野通勢」展 (20年2/2~巡回中)

4. 資料収集・保存事業 詳細、別紙2-3のとおり

- (1) 収 集 334点(寄贈93点/購入241点)
- (2) 修 復 1点
このほか、額装2点、紫外線カットアクリルへ入替え4点
- (3) 複 製 3件 50点
- (4) 映 像 2件 ※
- (5) 貸 出 30件
(内訳) 作品・資料: 5件 266点 / 写真: 25件 93点
- (6) 写 真 撮影 2件/ 写真パネル作成37点 ※
(内訳) 特別展関連資料撮影及び所蔵資料ほか : 2件 115点

(7) 資料整理・保存（収集整理以外）

・資料状態の把握

浸水の影響から収蔵品、特に地下収蔵庫内の図書、雑誌、印刷物、フィルム等の状態を把握するため定期的に点検を行う。

旧実篤邸の資料移動にあたり、資料の現状確認を実施した。

・図書保存箱の作成	100点
・作品収納箱の作成	10点
・資料画像のデジタル化	300点
・写真フィルムの整理	516点
・他館発行の図録、年報整理	193点

(8) 収蔵品データベースの充実

実篤記念館が所蔵する美術作品・文字資料・映像資料及び実篤関連資料等の基礎データ整理、一般公開する収蔵品データベースの整備を継続した。

・収蔵品データベース登録数（19年度末現在）	30,365件
・図書データの追加、更新作業	1,706件
・文字データと画像データのリンク作業	300件
・美術品、原稿、書簡、写真資料データ作成・整備作業	3,206件
・画像データ整備作業	2,321件

(9) 燻蒸

- ・収蔵庫内の燻蒸のために、作品・資料に関する作業を実施
- ・旧実篤邸内の資料も一部、収蔵庫へ移動しあわせて燻蒸した。

(燻蒸期間：7/10～7/19)

5. 閲覧・情報公開事業

(1) 閲覧

詳細、別紙1-3のとおり ※

閲覧室の開架図書を中心とする閲覧及びレファレンス、資料照会

一般閲覧 開室日数 244日

利用者数 4,974名

特別閲覧 1件

資料照会（レファレンス） 1,834件

(カウンター、電話、メールを含む)

(2) 情報提供システムの運用

平成17年12月より稼働した、収蔵品の文字・画像・映像情報等を収録する情報提供システム（収蔵品データベース、情報提供システム、映像視聴システム、ホームページ）は、各種情報及びコンテンツの充実と利用促進を計った。

・収蔵品データベース 総アクセス数 約1,184,801件

6. 調査・研究事業

※

(1) 特別展関係

開催にともない、資料所蔵先や関係者へ、資料及び聞き取り調査を実施した。また、その成果は、展覧会及びパンフレットへの発表をはじめ、情報の記録作業を行った。

「日日は好日」では、『心』生成会同人の関係者へ照会し、経歴の把握や写真、資料調査を実施した。

(2) 資料調査

実篤及び白樺同人関係資料の調査として個人所蔵の志賀直哉宛て書簡及び河野家所蔵の作品、資料の整理及び調査を引き続き実施。

19年度は特に、新しき村美術館所蔵の武者小路実篤原稿の調査を進め、また、「河野通勢展」への作品・資料調査に協力した。

(3) 武者小路実篤研究

武者小路実篤の著作データ及び主宰雑誌の目次データの整備を進めた。

7. その他事業

※

(1) 友の会活動

- ・友の会ニュースの発行 年6回
- ・実篤関連図書、実篤カレンダー（2008年版）等の有料頒布
- ・ミュージアムグッズの制作と頒布

- ・観梅会の開催 平成20年2月17日（日） 実篤記念館・東部公民館
中庭にある新しき村より贈られた梅の花を眺めながら、邦楽と洋楽の
共演コンサートを楽しんだ後、東部公民館で講座と会員の交流会を開催。
演奏：桐朋学園大学音楽部、邦楽アンサンブル
講座：お話を聞く「仙川の暮らし」木村錦子氏（実篤・孫）
参加者：コンサート参加者86名/交流会 28名

- ・当年度会員数～80人
- ・事業団は事務局を担当

(2) 学芸員実習 8月1日～8日（7日間） 2名

(3) 写真貸出・特別撮影

- ・出版、展覧会等への写真貸出、資料撮影への対応を行う。
（内訳）写真貸出：14件65点（有料）/特別撮影：2件（無料）

8. 事務事業（事務局）

(1) 規約、規程等の制定及び改正

- ・給与規程の一部改正（平成19年4月10日、12月26日、20年3月28日）
- ・事務局長の服務等に関する規程の一部改正（平成20年3月28日）

(2) 会計事務

- ・公益法人会計に準拠した会計システムを実施。
- ・消費税の税務申告作業を実施。
- ・会計処理 740件

(3) 理事会、監事会

- ・理事、監事 別紙3 「役員名簿」のとおり
- ・理事会 第1回理事会 平成19年5月15日 開催
第2回理事会 平成20年3月28日 開催
- ・監事会 第1回監事会 平成19年5月9日 開催

(4) 運営状況の情報公開

- ・平成20年3月より、運営状況をホームページ上で公開を開始。
公開のための準備作業を行った。

(5) 施設

1. 実篤記念館

※受付、窓口業務

※休憩施設の運営 ビデオ、休憩コーナー（給茶設備）の管理運営

※実篤記念館日常管理への協力

2. 実篤公園施設の活用

※実篤公園の日常管理への協力

3. 旧実篤邸の保存と活用

※旧実篤邸保存 邸内の資料の適切な保存を図った。

※旧邸耐震工事への協力

耐震補強工事を映像と写真による記録を行った。

工事期間中、旧実篤邸内にある図書、愛蔵品等を保管するために、
搬出・搬入及び復元作業を実施した。

※旧実篤邸公開

耐震補強工事終了後、10月6日より再公開。

詳細、別紙1-2のとおり

<凡例> 事業項目にある「※」印は、普及促進事業。

平成19年度 調布市武者小路実篤記念館使用状況

平成20年3月31日 現在
下段の()内の数字は前年度

1 実篤記念館(実篤公園利用者を含む)

月	大人(人)	内 入館	子供(人)	内 入館	計 (人)	内 入館	累計(人)	内 入館	開館 (日)	考
4 月	2,294 (1760)	941 (597)	756 (636)	190 (54)	3,050 (2,396)	1,131 (651)	3,050 (2,396)	1,131 (651)	26 (26)	春季展「自然は不思議」 3月27日～4月22日
5 月	2,292 (2,250)	1,085 (1,199)	569 (465)	43 (144)	2,861 (2,715)	1,128 (1,343)	5,911 (5,111)	2,259 (1,994)	26 (26)	春の特別展「日日は好日」 4月28日～6月3日
6 月	1,549 (1,419)	669 (616)	654 (628)	60 (66)	2,203 (2,047)	729 (682)	8,114 (7,158)	2,988 (2,676)	26 (26)	愛蔵の工芸品 6月9日～7月8日
小 計	6,135 (5,429)	2,695 (2,412)	1,979 (1,729)	293 (264)	8,114 (7,158)	2,988 (2,676)	— —	— —	78 (78)	
7 月	991 (1,151)	400 (582)	265 (399)	45 (73)	1,256 (1,550)	445 (655)	9,370 (8,708)	3,433 (3,331)	17 (26)	夏休み企画「人間萬歳」 7月24日～9月2日
8 月	1,084 (1,227)	540 (679)	462 (540)	244 (265)	1,546 (1,767)	784 (944)	10,916 (10,475)	4,217 (4,275)	27 (27)	秋季展「墨の世界」 ～愛蔵品と作品から～ 9月8日～10月14日
9 月	1,325 (1,232)	623 (615)	326 (264)	71 (61)	1,651 (1,496)	694 (676)	12,567 (11,971)	4,911 (4,951)	26 (26)	移動展 「武者小路実篤と『白樺』の仲間たち」 9月29日～10月30日
小 計	3,400 (3,610)	1,563 (1,876)	1,053 (1,203)	360 (399)	4,453 (4,813)	1,923 (2,275)	— —	— —	70 (79)	秋の特別展 「写真に見る実篤とその時代 part3」 ～昭和21年～51年～ 10月27日～12月2日
10月	3,172 (1,683)	677 (696)	365 (545)	26 (34)	3,537 (2,228)	703 (730)	16,104 (14,199)	5,614 (5,681)	26 (26)	書簡展 12月15日～1月20日
11月	2,075 (2,004)	1,026 (900)	445 (427)	44 (60)	2,520 (2,431)	1,070 (960)	18,624 (16,630)	6,684 (6,641)	26 (26)	
12月	1,346 (1,023)	467 (464)	386 (330)	38 (31)	1,732 (1,353)	505 (495)	20,356 (17,983)	7,189 (7,136)	24 (23)	「埋もれていたもの」 収蔵品の中の珍品 1月26日～3月2日
小 計	6,593 (4,710)	2,170 (2,060)	1,196 (1,302)	108 (125)	7,789 (6,012)	2,278 (2,185)	— —	— —	76 (75)	
1月	1,144 (1,016)	515 (429)	291 (307)	34 (20)	1,435 (1,323)	549 (449)	21,791 (19,306)	7,738 (7,585)	24 (23)	春季展「画をかく喜び」 ～油彩画を中心に～ 3月8日～4月13日
2月	1,904 (1,773)	1,036 (860)	274 (267)	27 (37)	2,178 (2,040)	1,063 (897)	23,969 (21,346)	8,801 (8,482)	25 (24)	
3月	2,604 (2,364)	1,153 (1,160)	606 (700)	55 (151)	3,210 (3,064)	1,208 (1,311)	27,179 (24,410)	10,009 (9,793)	26 (27)	※7月10日～19日くん蒸消毒のため 休館しました。
小 計	5,652 (5,153)	2,704 (2,449)	1,171 (1,274)	116 (208)	6,823 (6,427)	2,820 (2,657)	— —	— —	75 (74)	
合 計	21,780 (18,902)	9,132 (8,797)	5,399 (5,508)	877 (996)	27,179 (24,410)	10,009 (9,793)	— —	— —	299 (306)	
月平均	1,815 (1,575)	761 (733)	450 (459)	73 (83)	2,265 (2,034)	834 (816)	— —	— —	25 (26)	
日平均	73 (62)	31 (29)	18 (18)	3 (3)	91 (80)	33 (32)	— —	— —	— —	

2 旧実篤邸公開

月	10	11	12	小計	1	2	3	小計	合計
公開日数	8	8	8	24	8	8	10	26	50
利用者数	512	506	376	1,394	512	330	874	1,716	3,110

*耐震補強工事を終了したため、10月6日(土)から公開を再開した。

3 閲覧室の状況

項 目	開室日数 (日)	利用者数(人)			レファレンス受付件数(件)			備 考
		室利用者	(情報提供 システム)	(PC検索 システム)	カウンター 受付	電話・Eメール 等受付	小 計	
4月～6月	63	1,307	762	170	361	28	389	
7月～9月	58	1,001	543	242	291	33	324	7月10日～19日くん蒸消毒のため休館。
10月～12月	61	1,222	639	165	511	34	545	
1月～3月	62	1,444	791	176	536	38	574	
計	244	4,974	2,735	753	1,699	133	1,832	

平成19年度 調布市武者小路実篤記念館運営事業団事業報告

1. 展示事業

展 示 名 称	展 示 概 要	会 期	会期中利用者数(人)
春季展 「自然は不思議」	実篤は、40歳を過ぎてから絵筆をとり、野菜や花、自然の美しさを描き独自の世界を作り上げました。自然の不思議さ、美しさに感動し、新鮮な生命力を感じ、その美しさを描きたいと願った実篤、彼の求めた美の世界を探った。	平成19年3月27日 ～4月22日 (24日間)	大 人 687 子ども 198 計 885 (4月分のみ)
春の特別展 「日日是好日」 ～雑誌『心』に集う人々～	60歳を過ぎてもなお、創作意欲の旺盛な武者小路実篤が、同年代の文学、美術、科学、思想など幅広い分野の人たちと、自由に発表の出来る場を求めて、昭和23年7月に雑誌『心』を創刊しました。集まった同人がそれぞれの専門から、『心』に執筆したことで、同人雑誌であると同時に、総合雑誌としての側面を持ち、昭和56年8月に終刊を迎えるまでの間に、歴史に残る名作や研究論文を数多く送り出してきました。展覧会では、これまで取り上げられる機会が少なかったこの『心』にスポットを当て、『心』創刊時の生成会同人42人の人物と業績を紹介することで、改めて雑誌のプロフィールを浮き彫りにした。	平成19年4月28日 ～6月 3日 (32日間)	大 人 1,436 子ども 77 計 1,513
「愛蔵の工芸品」展	実篤は多くの美術品を収集し、身近に置いて日々楽しみ、また、愛用していました。人間国宝の黒田辰秋の朱塗箱や飾棚をはじめとして、陶磁器、俑、木工品など紹介するとともに、それらを描いた実篤の画もあわせて紹介した。	平成19年6月9日 ～7月8日 (26日間)	大 人 694 子ども 57 計 751
夏休み企画 「人間萬歳」	「友情」、「愛と死」、「真理先生」などの文学作品や自然を描いた画の他に多くの戯曲も作りました。天使が「神様。」と呼びかけると、神様が「なんだ。」と答えて、地球上に生物が誕生する様子を描いた『人間萬歳』や、正直爺さんの正兵衛が登場する『花咲爺』では生き生きとしたセリフが特徴です。実篤は自分で作った戯曲の主人公を演じたこともあります。このような実篤の生涯を夏休み中の小・中学生にもわかりやすく紹介した。	平成19年7月24日 ～9月2日 (36日間)	大 人 774 子ども 300 計 1,074
秋季展「墨の世界」 ～愛蔵品と作品から～	武者小路実篤が収集し、日々身近に置いて親しんだコレクションから禅僧の墨跡を中心に紹介し、併せて実篤自身の書画を紹介した。主な作品として、良寛の「草書詩歌屏風」、一休宗純の「三冬時節」、実篤の「和不動」「龍となれ」等を紹介した。	平成19年9月8日 ～10月14日 (32日間)	大 人 899 子ども 69 計 968
移動展「実篤と『白樺』の仲間たち」	武者小路実篤は、明治43年に友人たちとともに創刊した同人雑誌『白樺』で文学者として世にでました。今回の移動展では実篤、志賀直哉、有島武郎、柳宗悦等の原稿や書画、岸田劉生、梅原龍三郎等による実篤著書の装幀・挿絵原画など、『白樺』同人たちの作品を展示し、活動と彼らの交友を紹介した。	平成19年9月29日 ～10月30日 (30日間)	2,439 (大人・子どもの 内訳未測定)
秋の特別展 「写真に見る実篤とその時代 part3」 昭和21年から51年	平成11年、13年に続く3回目のシリーズで、終戦の混乱が残る昭和21年から高度経済成長期を経て実篤が90歳で亡くなる昭和51年4月までの完結編。昭和20年代からのベストセラー小説『真理先生』をはじめとした「山谷ものシリーズ」、昭和30～40年代の野菜や花などの画に言葉を添えた独特な作風、晩年の調布・仙川の家で老いを見つめながらも前向きに執筆、書画に取り組む日々等を写真とおして紹介した。	平成19年10月27日 ～12月2日 (32日間)	大 人 1,315 子ども 61 計 1,376
「書簡展」	実篤が友人や家族に宛てた手紙約700通の中から、子どもたちへの楽しいはがきや『白樺』にかける情熱を伝える若き日の志賀直哉への手紙、代表作『愛と死』誕生にまつわる編集者とのやりとりなど、所蔵する書簡から厳選し、実篤の素顔を紹介した。	平成19年12月15日 ～1月20日 (27日間)	大 人 541 子ども 47 計 588

埋もれていたもの ～収蔵品の中の珍品～	実篤記念館収蔵庫には、書画や原稿、書簡、図書等以外にも、実篤や白樺同人、新しき村に関わるたくさんの方の資料を収蔵しています。その中から草履、帽子等の愛用品や、書画をプリントした絵皿などさまざまな製品等普段紹介する機会の少ない珍しい資料や愛用品を中心に紹介した。	平成20年1月26日 ～3月2日 (32日間)	大人 1,361 子ども 53 計 1,414
春季展「画をかく喜び」 ～油彩画を中心に～	実篤の画といえば、野菜をモチーフにした淡彩画がよく知られていますが、静物画や風景画、身近な家族の肖像画の油彩画作品もたくさん描いています。40歳で絵筆をとった時の気持ちや、画のモデルとなった家族のエピソードなど、各年代の代表作を紹介した。	平成20年3月8日 ～4月13日 (32日間)	大人 865 子ども 36 計 891 (3月分のみ)

2 普及事業

(1) 講座・講演会等活動

事業名	内 容	講 師	開催日	場 所	参加者数
講座 「実篤に挑戦！～筆と墨で絵をかこう」(春)	実篤がよく描いた野菜や花を、日常なじみの少ない墨と絵の具で描き、実篤がどのように描いていたかを体感する機会とした。	事業団職員	4月21日・22日	実篤記念館	36
読書講座「原田宗典、武者小路 実篤を朗読する」(3回連続)	実篤の戯曲を原田氏とゲストの俳優の方の朗読で実篤作品に親しみ、活字だけでは気付かなかった実篤文学の魅力を発見し、身近に感じる機会とした。	原田 宗典	5月12日・19日・26日	東部公民館	37
春の特別展 「日は好日～雑誌『心』に集う人々」の展示解説	展示を見ながら、雑誌『心』に集まった、文学・美術・学術を代表する42人の人と業績について解説した。	事業団職員	5月13日	実篤記念館	35
講座 「作ってみよう！～梅ジャム」	新しき村から贈られた記念館中庭の3本の梅の木から収穫した実で、ジャム作りを体験した。	事業団職員	6月2日・3日	実篤記念館 東部公民館	28
美術講座 「民藝に親しむ」(全2回)	『白樺』同人であった柳宗悦は、民藝運動の提唱者でもあります。「実篤愛蔵の工芸品」展を機会に、民藝運動について学ぶとともに、日本民藝館と柳宗悦邸を見学した。 ・第1回「柳宗悦のことー白樺時代を中心に」 ・第2回「日本民藝館特別展「白磁と染付」と旧柳宗悦邸見学」	杉山 亨司	7月7日・8日	東部公民館 日本民藝館	56
講座 「作ってみよう！私だけの本」	夏休みの小・中学生を対象にした講座で、本文から製本まで、3回の講座で、世界でたったひとつの自分の本を作ることを経験した。	田尾明敏 岡野暢夫	7月28日・29日・8月2日	実篤記念館 東部公民館	39
講座 「実篤に挑戦！～筆と墨で絵をかこう」(夏)	実篤がよく描いた野菜や花等を題材に、普段あまり使わない筆と墨で和紙に描き、実篤の描き方を体感した。	事業団職員	8月17日・18日	実篤記念館	95
講座 「実篤に挑戦！～うちわに筆と墨で絵をかこう」	実篤がよく描いた野菜や花等を題材に、筆と墨でうちわに描き、実篤の描き方を体感した。	菱沼陽士女	8月19日 (2回)	実篤記念館	33
講座 「もっと知りたい！～自由研究サポート」	小・中・高校生を対象に、記念館の資料・図書・パソコン・情報システム、実篤公園の自然、更に地域の歴史など、夏休みの自由研究をサポートした。ボランティア等の協力を得て「ワークシートを利用した記念館や公園の探求」や「実篤公園の植物を使った工作」、「実篤公園周辺の動・植物、昆虫」、「調布の歴史」、「実篤や白樺派について」などの調べ方、参考書のアドバイスを実施した。	事業団職員 協力ボランティア	8月2日・9日・16日・23日	実篤記念館	73
講座 「もっと知りたい！特別編～実篤公園の湧き水調べ」	実篤公園の湧き水と池の水を採取し、試薬キットを使って実験し、それぞれの特徴と違いを調べた。	市職員	8月5日 (2回)	実篤記念館 実篤公園	18
読書講座 「実篤と漱石ー『それから』の受容を中心に」(全2回)	武者小路実篤は文壇に先輩をもちませんでしたが、夏目漱石には深い尊敬と親愛を寄せました。講座では、実篤が文学者としての第一歩となる『白樺』創刊号に発表した漱石の『それから』に対する評論を読み、江戸東京博物館で開催した「夏目漱石展」を見学して、実篤の漱石観と二人の交流について理解を深めた。	瀧田 浩 事業団職員	9月22日 10月4日	東部公民館 江戸東京博物館	36

展示解説 移動展「武者小路実篤と『白樺』の仲間たち」	移動展「武者小路実篤と『白樺』の仲間たち」の関連事業として実施した。実篤と白樺の仲間たちの交友関係を中心に、実際に作品と資料を見ながら、ポイントを絞り、流れよく解説をした。	事業団職員	10月8日	文化会館たづくり 1階展示室	42
記念講演会 「私の中の武者小路実篤」	移動展「武者小路実篤と『白樺』の仲間たち」展の関連企画として実施した。 絵手紙作家・書家として活躍する小池氏から「僕が一番影響を受けた武者小路実篤」が、友人たちと影響しあって、それぞれに優れた作品を世に送り出したことへの強い感動や、実篤の画に書いてある言葉の重要性などの講師の思いを熱く語り実篤の魅力を紹介した。	小池 邦夫	10月17日	文化会館たづくり 12階大会議場	221
展示解説 移動展「武者小路実篤と『白樺』の仲間たち」	移動展「武者小路実篤と『白樺』の仲間たち」の関連事業として実施した。身内しか分からない実篤の人柄、創作に対する姿勢を紹介し、また、白樺の仲間たちの人柄、創作活動を紹介し、個性の違いと互いに認め合う姿勢、『白樺』が創刊されたころの時代背景などを織り交ぜながら案内した。	武者小路 穰	10月27日	文化会館たづくり 1階展示室	27
展示解説 秋の特別展「写真に見る実篤とその時代3」	秋の特別展「写真に見る実篤とその時代 part3」の関連事業として実施した。昭和21年から51年までの実篤の活動や仙川での暮らし、仕事を中心に、実際に作品と資料を見ながら、ポイントを絞り紹介した。また、昭和20年代の出版事情、昭和30年代の実篤作品が多くの人々に紹介され親しまれたこと、東京オリンピックにまつわる資料や写真などの時代性もテーマにして紹介した。	事業団職員	11月10日	実篤記念館	11
旧実篤邸見学会	耐震補強工事終了により公開を再開した旧実篤邸の見学会を実施。志賀直哉との交流や家族との過ごし方などの実篤が生活していた当時のエピソードを交えて案内した。	武者小路 穰	11月23日	旧実篤邸 実篤記念館	38
実篤公園自然観察会(冬)	実篤公園には、今では残り少なくなった武蔵野の雑木林の面影が色濃く残っている。秋から冬へ移りゆく季節、木々の葉が色づき、ドングリがこぼれ落ちる中、普段見逃しがちな植物の特徴や生態、また、人々の生活に暮らしに根付いていた雑木林の特性と歴史を学び、身近な自然の魅力を見直した。	富田 広	12月2日	実篤公園 及び 周辺緑地	19
親子工作講座 「クリスマス飾りを作ろう」	実篤公園の竹や木の実等の植物を使ってクリスマス・オーナメントを作り、身近な自然に触れる、実篤や記念館に親しむ機会とした。	渡邊由美子	12月15日	実篤記念館 実篤公園	24
製本講座(3回連続)	本作りの基礎を学びながら、手作りの本を完成させ、本に親しむ機会とした。初めて豆本を取り上げた。	岡野暢夫	1月17日・ 31日・ 2月7日	東部公民館	54
実篤公園自然観察会(春)	武蔵野の面影残る緑豊かな早春の実篤公園とつつじヶ丘駅から実篤公園までの国分寺崖線を歩き、木々の芽吹きや花が咲き始める中、講師の解説で普段気づかない植物の生態、また、人々の暮らしに根付いていた雑木林の特性と歴史を学び、身近な武蔵野の自然の魅力を見直した。	富田 広	3月2日	実篤公園 及び 周辺緑地	20
朗読会「実篤を聴く」パート7 「仙川の実篤」	せんがわ劇場のオープニングイベントの一環として実施した。 実篤は会話で表現することを得意とし、その代表作『その妹』『愛欲』等のほか短編戯曲を数多く書いた。今回の朗読会では、自伝小説から仙川の生活を語りつづいたユーモアとベアソに飛んだ戯曲8作を取り上げ、表現力豊かな俳優の朗読で実篤の文学世界を楽しむ機会とした。	演出 川和 孝 出演 中野順二 奈良井志摩 藤沢健志 松尾智昭 宮崎敦吉 山口晶代	3月20日 (2回)	せんがわ劇場	167

(2) 地域連携事業

事業名	開催日・会場	連携・協力団体	事業内容	参加者数
文学コンサートin実篤記念館	4月8日 実篤記念館	桐朋学園大学 音楽学部	実篤が楽しんだ明治中期の音楽事情の解説と実篤と音楽との交流のエピソードを織り交ぜながら、ヴァイオリンとピアノを鑑賞する。 「赤とんぼ」「赤い靴」等を参加者と歌い、実篤への思いをはせた。	76
友の会交流会「観梅の集い」	2月17日 実篤記念館 東部公民館	桐朋学園大学 音楽学部 邦楽アンサンブル 花夜	中庭にある新しき村から贈られた梅の花を眺めながら、邦楽と洋楽の共演コンサートを楽しんだ後、東部公民館でミニ講座と交流会を開催した。	コンサート86 交流会 28

(3) 学校教育との連携事業

事業名	実施日・会場	連携・協力団体	事業内容	参加者数
職場体験	9月11～13日 実篤記念館	第四中学校	中学3年生の職場体験	2
職場体験	12月12日 実篤記念館	桐朋学園女子高校	高校1年生の職場体験	3
職場訪問	1月16日 実篤記念館	第八中学校	職場見学と学芸員の仕事	3
『ともだち』調布市の子どもたちの詩・作文(第2集)発行	2月	市内小・中学校	児童・生徒の応募作から小学生34人・中学生40人を選考し、表彰した。	982

(4) 協力ボランティア事業

1) 協力ボランティア活動

ボランティア登録者 38人

主な活動事業	内 容	日数(1～3月)	年間累計	参加者延人数	年間累計
収蔵資料整理作業	収蔵資料, 寄贈資料整理	2	27	9	107
広報資料発送作業	記念館刊行物・ポスター・チラシ等発送	5	19	22	89
開催事業補助作業	講座, 講演会等の受付, 会場整理	6	35	39	232
ボランティア研修会	展示解説, 講演会研修参加	5	13	70	128
ボランティア会議	ボランティア活動に関する打合せ	1	13	16	75
植物ボランティア	記念館・公園の草花植え込み作業等	4	21	37	107
その他	公園・記念館等ガイドの原稿作成ほか	8	11	50	64
	(計)	31	120	227	786

*9月6日 台風9号浸水対策土嚢設置作業 3人

2) 協力ボランティア養成講座(全6回)

事業名	開催日・会場	講 師	事業内容	参加者数
第 1 回	5月31日 実篤記念館	武者小路 穰	実篤記念館の活動	12
第 2 回	6月28日 実篤記念館	事業団職員	実篤の仕事 ～文学と美術～	9
第 3 回	8月30日 埼玉県毛呂山町	石川 清明	「新しき村」見学会	6
第 4 回	9月22日 実篤公園・東部公民館等	小出 仁志	実篤公園の自然	8
第 5 回	10月18日 東部公民館	小林 祐子	「ボランティアとは？」	9
第 6 回	11月29日 東部公民館	事業団職員	ワークショップ 「実篤記念館のボランティア活動」	7

3) 協力ボランティア ステップアップ講座

研修名	内 容	講 師	開催日	場 所	参加者数
視察研修会	実篤や白樺派ゆかりの美術館を訪ね、記念館事業の理解を深める研修。 今回は、平塚市美術館の「河野通勢」展の見学と共に、ボランティア先進館活動を学ぶ。河野通勢は草土社で活躍した画家として、実篤と関わりが深く実篤の本もたくさん手がけている。	平塚市美術館 学芸員 事業団職員	2月5日	平塚市立美術館	24
救命救急・消火訓練	記念館に設置されているAED(自動体外式除細動器)の操作と人形を使用した心臓マッサージ訓練、また、訓練用消火器を使用した消火訓練を実施した。	調布消防署 つじヶ丘出張所員	2月19日	実篤記念館	19

(5) 印刷物の編集

資 料 名	種 別	対 象	発 行	部 数	備 考
日是好日 ～雑誌『心』に集う人々～	春の特別展解説書	一般	平成19年4月	2,000	有償頒布
もっと知りたい 武者小路実篤	解説シート No.1～6	一般・子ども	平成19年7月	各3000	増刷
もっと知りたい 武者小路実篤 実篤の戯曲 1 かちかち山	解説シート No.25	一般・子ども	平成19年9月	5,000	
もっと知りたい 武者小路実篤 実篤の戯曲 1 花咲翁	解説シート No.26	一般・子ども	平成19年9月	5,000	
もっと知りたい 武者小路実篤 実篤の戯曲 1 舞台に	解説シート No.27	一般・子ども	平成19年9月	5,000	
写真に見る実篤とその時代 part3」 ～昭和21年から51年～	秋の特別展解説書	一般	平成19年10月	1,500	有償頒布
実篤記念館 館報	13号	一般	平成19年10月	3,000	
外国語版利用案内	日本語, 英語, 中国語, ハ ングルによる利用案内	外国語人	平成19年12月	2,000	
『ともだち』 調布市の子どもの詩・作文(第2集)	冊子	一般・子ども	平成20年2月	1,000	掲載74作(応募982作)
実篤記念館 館報	14号	一般	平成20年3月	3,000	
平成20年度 展示案内	年間日程表	一般	平成20年3月	20,000	

3. 資料収集・保存事業

(1) 資料収集

資 料 区 分	寄 贈 (点)	購 入 (点)	合 計 (点)	備 考
図書・雑誌	87	241	328	
関連作品・資料	6	0	6	
(計)	93	241	334	

(2) 修復

- 武者小路実篤作品 1点 ・「椿之図」(紙本墨画淡彩・軸装)
- 他者作品 2点 ・ゴッゲン素描(2点) 額入替え
- 額修理 4点 ・ガラスを紫外線カットアクリルに入替える(実篤作品)

(3) 複製

- 武者小路実篤原稿 1件2点 ・武者小路実篤「友情の杖」原稿(3枚目、7枚目) 新しき村美術館所蔵品
- 写真複写 48点 ・貴重写真を複写

(4) 映像

- 記録撮影 2件 ・旧実篤邸耐震補強工事の記録映像を撮影
- ・「朗読会」(平成20年3月20日開催)

(5) 資料貸出

資 料 種 別	件 数	点 数	備 考
作品・資料	5	266	
写真資料	25	93	印刷物・展示用
(計)	30	359	

調布市武者小路実篤記念館運営事業団役員名簿

平成20年3月31日 現在

期 平成18年4月1日から平成20年3月：

[理事]

職名	氏 名	備考
理 事 長	ふくだ ひろし 福 田 宏	
理 事	こばやし いちぞう 小 林 一 三	調布市教育委員会・教育部 教 育 部 長
理 事	むしゃこうじ たつこ 武 者 小 路 辰子	
理 事	ますざわ としひろ 増 沢 俊 博	調 布 市 生活文化部長
理 事	つかごし ひろみち 塚 越 博 道	調布市教育委員会・教育部 参 事
理 事	たけかわ えいじ 武 川 栄 次	調布市教育委員会・教育部 武者小路実篤記念館館長

[監事]

職名	氏 名	備考
監 事	まつやま きょういち 松 山 喬 一	
監 事	すがや ゆ う じ 菅 谷 勇 治	調布市教育委員会・教育部 社会教育課長